

まとめに代えて

深谷昌志

自治体の試みの有効性

今回の調査結果を要約すると、多くの生徒はのんびりと土曜日を過ごしていて、学校の土曜休日を歓迎している。そうした反面、授業が5日間に圧縮されるので、学校が忙しくなったにつきる。

土曜日の授業をカットして、土曜日を自由にした。土曜日が有意義に活用されるなら、金曜日までが忙しくても仕方がない。しかし、のんびりと朝寝を楽しむために「学校5日制」を導入したのではあるまい。

そう考えると、土曜日の活用が大事になる。多くの自治体では、土曜日対策を講じている。そこで、本調査では、積極的に土曜日対策に乗り出した3自治体の中学校に協力を求めた。

1. 下町A中(東京都台東区) = 土曜スクール
各中学校に「土曜スクール運営委員会」を設置し、実施計画を立て、指導者の選考も行う。A中では、国語、数学、英語の補充コースと発展コースを用意し、1日3時間、年間20回の土曜スクールを開講する。講師は大学院生や地域の人などを選考した。

2. 住宅地A中(野田市) = オープンサタデー
クラブ
小学生には算数の授業を行うサタデースクールを毎週土曜日に開講する。また、小中学生には第1・3・5土曜日に、伝統文化やスポーツを伝達するクラブを実施し、指導者は地域の経験者などを予定している。

3. 郊外A中(深谷市) = がんばルーム
小学生は国語と算数、中学生は英語と数学にしばって、基礎学力の定着を目指す。中学校は9時半から約2時間、第1・3土曜日に数学、第2・4土曜日に英語の授業を行う。「ちいきの先生」を

公募し、宿題を何度もみるようにする。

この3事例とも、各学校に運営委員会を置き、自主性を認めている。しかし土曜日専用に大学生や地域の人などを教員に採用して、2、3時間程度、教科を教えるのは共通している。もちろん、任意性なので、平成14年度の場合、参加者はそれほど多くはない。

こうした試みは、中学生にどのような意味を持つのか。そこで比較を試みるため、下町、住宅地、郊外の3地点とほぼ隣接する地域の3中学校を選んで、同じ調査を実施した。ただし、B地点はいずれも各学校の自主性を尊重して、自治体としては静観する構えの地域である。

したがって、自治体の取り組みが有効性を発揮していれば、A中学群の生徒はB中学群より、活発に活動しているのではない。

結果は、表1～8にくわしい。

寝た時刻 = 下町A中と郊外B中が遅くまで起きているが、その差は大きくない(表1)

起きた時刻 = 寝た時刻と同じように、下町A中と郊外B中の生徒がゆっくりと寝ている(表2)

土曜日の楽しさ = 土曜日が楽しいのは住宅地A中と郊外B中である(表3)

土曜日に学校へ行く = 部活動が盛んで、生徒たちが学校へ行くのは、A群より、B群の中学校の方が多い(表4)

土曜日にしたこと = B群の中学校で部活動が行われているせいか、A群の中学校の方が家で勉強したり、友だちと遊んだりしている割合が多い(表5)

土曜日の気持ち = 6中学校間の差は少ないが、下町A中の楽しさは低い(表6)

土曜日が休みになって増えたこと = 6中学校間の差は少ないが、下町A中の部活動の割合は低い(表7)

学校の楽しさ = 学校の楽しさに差はみられなかった(表8)

このように、このデータに関するかぎりでは、

学校を単位に実践的な試みをしている事例は生徒の生活にさほど影響を与えていないようである。もっとも、いずれの事例も、ボランティア的な性格が強く、強制力もないから、活動に参加する生徒が少ないのも当然なのかもしれない。

自治体ごとの試みを展開しよう

「はじめに」でふれたように、「学校5日制」は公立校で実施されている。しかし、都市圏の私立校、特に中学や高校では、土曜日に授業を行っている学校が多い。中には土曜日に英語や数学の特訓をして、それを学校のセールス・ポイントにしている学校もある。公立校は土曜日が休みなのに、

私立校の子どもは、学校できちんとした授業、しかも、進学指導を受けられる。親としては、土曜日を含めて、学力を高めてくれる私立校に子どもを通わせたいと思う気持ちになる。その結果、私立校の人気の高まるのと反比例する感じで、公立校の地盤沈下が進む。東京などでは私立校への対抗策として、土曜日の自主的な補習教育を計画している公立高校もある。そうはいつても、建前上は土曜日は休みだから、教員のサービス勤務になる。そうなると、公私とも、高校段階では「学校5日制」の理念は実質的に崩壊する。

さらにいえば、多くの子どもはぼんやりとしているといつても、熱心な家庭では、土曜日に家庭教師を雇ったり、学習塾やスポーツクラブに子ど

表1 寝た時刻

		(%)					
		下町中 A	住宅地中 A	郊外中 A	下町中 B	住宅地中 B	郊外中 B
金曜日	22時頃以前	18.5	33.3	25.6	30.0	36.2	22.7
	23時頃	26.5	30.2	34.5	32.6	33.7	30.9
	24時頃	21.5	18.4	26.6	19.7	17.9	20.3
	1時頃以降	33.5	18.1	13.3	17.7	12.2	26.1
	「24時頃以降」小計	55.0	36.5	39.9	37.4	30.1	46.4
土曜日	22時頃以前	25.8	26.9	24.9	24.1	26.5	13.7
	23時頃	23.8	30.0	25.4	27.7	33.1	31.7
	24時頃	18.8	21.8	29.4	25.1	19.4	21.0
	1時頃以降	31.6	21.3	20.3	23.1	21.0	33.6
	「24時頃以降」小計	50.4	43.1	49.7	48.2	40.4	54.6

表2 起きた時刻

		(%)					
		下町中 A	住宅地中 A	郊外中 A	下町中 B	住宅地中 B	郊外中 B
土曜日	6時頃以前	9.6	25.9	11.4	19.9	25.2	19.8
	7時頃	21.9	24.0	36.3	23.6	30.7	28.0
	8時頃	21.2	19.5	25.9	19.9	15.2	15.9
	9時頃	18.1	14.6	14.9	14.1	13.0	15.0
	10時頃以降	29.2	16.0	11.5	22.5	15.9	21.3
「9時頃以降」小計	47.3	30.6	26.4	36.6	28.9	36.3	

表3 土曜日の楽しさ

		(%)					
		下町中 A	住宅地中 A	郊外中 A	下町中 B	住宅地中 B	郊外中 B
とても楽しかった	15.2	33.1	15.8	20.5	10.0	25.1	
わりと楽しかった	48.3	50.5	52.0	52.3	50.3	48.3	
「楽しかった」小計	63.5	83.6	67.8	72.8	60.3	73.4	
あまり楽しくなかった	27.4	12.0	22.3	20.5	28.0	18.5	
ぜんぜん楽しくなかった	9.1	4.4	9.9	6.7	11.7	8.1	

表4 土曜日に学校へ行く

		(%)					
		下町中 A	住宅地中 A	郊外中 A	下町中 B	住宅地中 B	郊外中 B
学校で勉強	15.2	6.7	1.0	3.1	1.9	0.9	
学校で部活動	4.2	26.0	34.0	22.4	35.0	30.8	
部活動で遠征	9.5	9.9	6.9	19.9	20.0	15.2	
「部活動」小計	13.7	35.9	40.9	42.3	55.0	46.0	

もを通わせることを考える。そうすると、親の教育的な関心や生活程度によって、子どもの土曜日の使い方が規定される状況を招く。

いずれにせよ、中学生をのんびりとさせるために「学校5日制」を実施したのではあるまい。のんびりは日曜日とし、土曜日を活用したい。その際、いくつかの方策が考えられる。

学校の部活動を充実させる

部活動とは別に、スポーツや観察、実験などを行う

学校で補習や発展学習を行う

地域で部活動を行う

地域でスポーツや観察や実験などを行う

地域で補習や発展学習を行う

～ の組み合わせ

さらに、夏や冬の休みを利用したイベント

もちろん、このいずれについても、指導者を学校の教師に頼むか、地域で依頼するかに分かれる。

正直なところ、どれがベストという対策はない。中学生の体力をつけたいという考えもよいし、学力保証も悪くはない。土曜日の使い方なのであるから、それぞれの自治体で、親や教師と相談して、自由に試行錯誤したらよいのではないか。地域の学校間で競作するのもよい。何もしていないのは、ぼんやりする中学生を生むだけである。そして、親の経済力がものをいう社会になる。

生徒たちのために、魅力的な土曜日のプログラムを開発してほしいと思った。

表5 土曜日にしたこと

	(%)					
	下町中 A	住宅地中 A	郊外中 A	下町中 B	住宅地中 B	郊外中 B
部活動をした	12.1	31.8	36.4	37.8	49.7	44.0
(2時間以上)	12.1	26.5	30.2	37.8	48.0	42.9
塾で勉強をした	16.9	11.9	34.0	21.5	33.1	30.9
家で勉強をした	51.0	55.1	70.6	47.9	68.6	59.9
友だちと遊んだ	24.0	35.5	32.0	32.1	26.2	25.5

「した」割合

表6 土曜日の気持ち

	(%)						
	下町中 A	住宅地中 A	郊外中 A	下町中 B	住宅地中 B	郊外中 B	差 (-)
のんびりする	38.2	35.2	33.0	34.9	31.4	32.2	6.8
うれしい	52.5	53.4	59.6	56.4	53.2	60.7	8.2
楽しい	33.2	42.0	39.4	41.2	35.8	41.7	8.8

「とてもそう思う」割合

表7 土曜日が休みになって増えたこと

	(%)					
	下町中 A	住宅地中 A	郊外中 A	下町中 B	住宅地中 B	郊外中 B
部活動をする時間	17.3	51.4	39.7	40.0	43.1	41.3
自分で勉強する時間	33.8	41.7	53.2	35.5	50.3	41.2
睡眠時間	49.0	45.9	47.3	45.9	39.2	43.1

「とても」+「わりと」増えた割合

表8 学校の楽しさ

	(%)					
	下町中 A	住宅地中 A	郊外中 A	下町中 B	住宅地中 B	郊外中 B
とても楽しい	23.2	26.3	28.7	32.7	22.2	28.4
わりと楽しい	40.3	41.6	38.1	37.2	35.0	40.3
「楽しい」小計	63.5	67.9	66.8	69.9	57.2	68.7
あまり楽しくない	9.1	8.4	6.4	7.7	13.0	9.0
ぜんぜん楽しくない	6.8	6.0	5.4	5.1	6.8	1.9